

平成 23 年度 日本植物病理学会九州部会講演会（九病虫共催）  
および第 36 回シンポジウム

日 程： 平成 23 年 11 月 9 日（水）～11 月 10 日（木）

- 講演会： 平成 23 年 11 月 9 日（水） 9：00～17：00  
大分県労働福祉会館（全労済ソレイユ）カトレア（7F）  
〒870-0035 大分市中央町 4 丁目 2 番 5 号  
Tel： 097(533)1121
  
- 幹事会： 平成 23 年 11 月 9 日（水） 12：00～13：00  
大分県労働福祉会館（全労済ソレイユ）水仙（3F）
  
- 総会： 平成 23 年 11 月 9 日（水） 13：00～13：30  
講演会と同会場
  
- シンポジウム： 平成 22 年 11 月 10 日（木） 9：00～12：00  
大分県労働福祉会館（全労済ソレイユ）牡丹（3F）

講演形式について

（講演時間 13 分間、質疑 2 分間； 12 分で予鈴、13 分で本鈴、15 分で終鈴）

講演は Windows Microsoft PowerPoint 2000 以上で作成して頂いた発表内容を液晶プロジェクターで投影しながら行って頂きます。発表会当日、午前・午後の開始 30 分前までにファイルの入った CD-ROM または USB メモリを発表会場にご持参の上、発表者ご自身で作動の可否をご確認ください。インストールは、病害・虫害各会場係が行いますので、会場係に直接 CD-ROM または USB メモリをお渡しください。

# 講演会プログラム

(講演時間 13 分間、質疑 2 分間 ; 12 分で予鈴、13 分で本鈴、15 分で終鈴)

平成 23 年 11 月 9 日 (水) 9:00~17:00

- 1 **ピーマン軟腐病の伝搬にはタバコガとトウヨウクキエバエが関与する**  
(9:00-9:15) ○山崎修一<sup>1,2</sup>・雨川公洋<sup>1</sup>・玉嶋勝範<sup>1</sup>・岡崎真一郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大分農林水研・<sup>2</sup>現:大分豊肥振興局)
- 2 **ピーマン軟腐病の防除にはタバコガの防除が有効である**  
(9:15-9:30) ○雨川公洋<sup>1</sup>・山崎修一<sup>1,2</sup>・祖田嘉教<sup>1</sup>・山下大輔<sup>1,3</sup>・岡崎真一郎<sup>1</sup>(<sup>1</sup>大分農林水研・<sup>2</sup>現:大分豊肥振興局・<sup>3</sup>現:大分中部振興局)
- 3 ***Xanthomonas campestris* pv. *campestris* ATCC33913 株由来  $\beta$ -L-アラビノフラノシダーゼのクローニングと機能解析**  
(9:30-9:45) ○安川結野・中村正幸・藤田清貴・岩井 久(鹿児島大農)
- 4 **暖地二期作ジャガイモ栽培における緑肥導入と青枯病発病抑制効果との関係**  
(9:45-10:00) ○菅 康弘<sup>1,3</sup>・小川哲治<sup>1</sup>・堀田光生<sup>2</sup>・古屋成人<sup>3</sup>・土屋健一<sup>3</sup>(<sup>1</sup>長崎農技セ,<sup>2</sup>農環研,<sup>3</sup>九大院農)
- 5 **トマト接木苗から分離された内生細菌の多様性と生物的防除素材菌の選抜**  
(10:00-10:15) ○城野隆宏・古屋成人・松隈弓子・Hoang Hoa Long・竹下 稔・土屋健一(九大院農)
- 6 **コムギ葉鞘に生息する細菌の群集構造と性状解析**  
(10:15-10:30) ○田辺尚子<sup>1</sup>・植屋由希<sup>1</sup>・白土小百合<sup>1</sup>・吉田満明<sup>1</sup>・古屋成人<sup>1</sup>・丹羽理恵子<sup>2</sup>・吉田重信<sup>2</sup>・對馬誠也<sup>2</sup>・土屋健一<sup>1</sup>(<sup>1</sup>九大院農・<sup>2</sup>農環研)
- 7 **The nature of induced resistance by an endophytic *Pseudomonas* sp. to bacterial wilt of tobacco**  
(10:30-10:45) ○Hoang, H.L., Furuya, N., Yoshimoto, S., Takeshita, M. and Tsuchiya, K. (Kyushu University)
- 8 **水耕栽培下のシクワシャー樹体内におけるカンキツグリーニング病原菌の移行と症状の推移**  
(10:45-11:00) ○尾川宜広<sup>1</sup>・上之蘭茂<sup>1</sup>・玉野井昭<sup>2</sup>・船戸貴至<sup>2</sup>・佐々木雲海<sup>2</sup>・中村正幸<sup>2</sup>・岩井 久<sup>2</sup>(<sup>1</sup>鹿児島農総セ果樹・<sup>2</sup>鹿児島大農)
- 9 **カンキツグリーニング病の病徴発生機作に対する植物栄養面からの一考察**  
(11:00-11:15) ○上之蘭茂<sup>1</sup>・尾川宜広<sup>1</sup>・船戸貴至<sup>2</sup>・中村正幸<sup>2</sup>(<sup>1</sup>鹿児島農総セ果樹・<sup>2</sup>鹿児島大農)
- 10 **与論島のカンキツグリーニング病(HLB)感染カンキツ樹周辺に設置した健全タンカン樹における保毒キジラミ出現時期と感染時期との関係**  
(11:15-11:30) ○玉野井昭<sup>1</sup>・中村正幸<sup>1</sup>・尾川宜広<sup>2</sup>・岩井 久<sup>1</sup>(<sup>1</sup>鹿児島大農・<sup>2</sup>鹿児島農総セ果樹)

- 11 **カンキツグリーンング病原細菌の沖縄本島の局所地域における単純繰り返し配列の多型の解析**  
(11:30-11:45) ○加藤寛・佐藤(上地)奈美・藤川貴史・岩波徹(果樹研)
- 13:00-13:30 ----- 総 会 -----
- 12 **キュウリモザイクウイルス弱毒株の諸性質ならびに干渉効果能**  
(13:30-13:45) ○黒田敦子・上野山美沙・中司麻紀・竹下 稔・古屋成人・土屋健一(九大院農)
- 13 **キュウリ緑斑モザイクウイルス罹病根中の病原性低下と腐熟処理の条件との関係**  
(13:45-14:00) ○黒木尚・今村幸久(宮崎総農試)
- 14 **西日本のアブラナ科植物から採取したキュウリモザイクウイルスの遺伝集団**  
(14:00-14:15) ○西山 舞<sup>1</sup>・竹下 稔<sup>2</sup>・副島健太<sup>1</sup>・大島一里<sup>1</sup>(<sup>1</sup>佐賀大農・<sup>2</sup>九大院農)
- 15 **中国産ダイコンのカブモザイクウイルス拡散への関与**  
(14:15-14:30) ○深川 裕史・大島 一里(佐賀大農)
- 16 ***Ageratum yellow vein Hualian virus* および *Ageratum yellow vein betasatellite* の感染性クローン混合接種によるトマトでの病徴発現**  
(14:30-14:45) ○大貫正俊<sup>1</sup>・上田重文<sup>1</sup>・酒井淳一<sup>1</sup>・兒玉博聖<sup>2</sup>・河野伸二<sup>2</sup>(<sup>1</sup>九州沖縄農研口・<sup>2</sup>沖縄防技セ)
- 17 **カンキツ園で採集した温州萎縮ウイルスの系統分布**  
(14:45-15:00) ○富村健太<sup>1</sup>・中嶋香織<sup>2</sup>・市ノ木山浩道<sup>2</sup>・野口真弓<sup>3</sup>・井手洋一<sup>3</sup>・加藤光弘<sup>4</sup>・岩波 徹(<sup>1</sup>果樹研<sup>2</sup>三重紀南果樹研<sup>3</sup>佐賀果樹試<sup>4</sup>静岡果樹研)
- 18 **イムノクロマトキットを用いて温州萎縮病ウイルス(SDV)をカンキツ果皮から検出するための磨砕条件の検討**  
(15:00-15:15) ○井手洋一<sup>1</sup>・野口真弓<sup>1</sup>・堤 一礼<sup>2</sup>・杉崎太郎<sup>2</sup>・口木文孝(<sup>1</sup>佐賀果樹試<sup>2</sup>佐賀大農)
- 19 **ネーブル斑葉モザイクウイルスに対するモノクローナル抗体の作出とイムノクロマト・キットの作製**  
(15:15-15:30) ○草野成夫<sup>1</sup>・岩波徹<sup>2</sup>・榎原謙次<sup>3</sup>・田中雅士<sup>3</sup>・朝隈 英昭<sup>1</sup>(<sup>1</sup>福岡農総試果樹苗木<sup>2</sup>果樹研<sup>3</sup>(株)ミズホメディー)
- 20 **ポタンボウフウ菌核病(新称)の発生**  
(15:30-15:45) 新崎千江美・○大城篤・比嘉明美・仲村伸次・宮里政朗(沖縄農研セ)
- 21 ***Penicillium ulaiense* によるカンキツひげかび病(新称)**  
(15:45-16:00) ○田代暢哉<sup>1</sup>・井手洋一<sup>2</sup>(<sup>1</sup>佐賀上場セ<sup>2</sup>佐賀果樹試)
- 22 **秋季薬剤防除による親株床でのイチゴうどんこ病の発病抑制**  
(16:00-16:15) ○稲田 稔・古田明子(佐賀農業セ)
- 23 **チアジニルフロアブルとアシベンゾラル S メチル水和剤のイチゴ炭疽病に対する育苗中の防除効果**

(16:15-16:30)

○樋口康一(鹿児島農総セ)

24

**カンキツ黒点病適期防除のための簡易雨量計設置の必要性**

(16:30-16:45)

○野口真弓・井手洋一・口木文孝(佐賀果樹試)

25

**生育期におけるショウガ根茎腐敗病の効率的防除法**

(16:45-17:00)

○森山 美穂・行徳 裕(熊本農研セ)

# シンポジウムプログラム

(講演時間 45 分間、質疑 15 分間)

平成 23 年 11 月 10 日 (木) 9 : 00~12 : 00

(9 : 00-10 : 00) 座長 : 古屋成人 (九州大学大学院農学研究院)

## 1 「イネ白葉枯病抵抗性遺伝子のマッピング」

三和酒類株式会社

後藤 高弘

(10 : 00-11 : 00) 座長 : 松元 賢 (九州大学大学院農学研究院)

## 2 「Geographical distribution and genetic diversity of *Rhizoctonia* spp. associated with rice sheath diseases in Myanmar」

〜ミャンマーにおけるイネ紋枯病に関与する *Rhizoctonia* 属菌の地理的分布と遺伝的多様性〜

九州大学大学院農学研究院 (JSPS外国人特別研究員)

Seint San Aye

(11 : 00-12 : 00) 座長 : 平八重一之 (九州沖縄農業研究センター)

## 3 「イネ種子の鉄コーティング処理による育苗期の発病抑制」

九州沖縄農業研究センター

井上 博喜

---

### 講演会 座長一覧

| 講演番号                   | 座長氏名<br>(敬称略) | 所属      |
|------------------------|---------------|---------|
| 1~6<br>(9:00~10:30)    | 吉田 政博         | 九州東海大学農 |
| 7~11<br>(10:30~11:45)  | 津野 和宣         | 宮崎大農    |
| 12~15<br>(13:30~14:30) | 上田 重文         | 久留米野菜茶試 |
| 16~19<br>(14:30~15:30) | 岩井 久          | 鹿児島大農   |
| 20~25<br>(15:30~17:00) | 中村 正幸         | 鹿児島大農   |